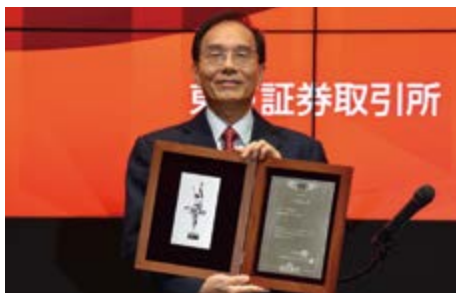


株主の皆様へ

2017年5月に、「2017-2019年度 中期経営計画」を策定し、「守りから攻めへ、構造改革から事業拡大へ」「人に寄り添うIoT」「8Kエコシステム」の実現に向けたトランスフォーメーション」をキーワードに、事業や戦う市場、オペレーションの変革に取り組んでいます。



2017年12月7日、東京証券取引所での第一部復帰セレモニーにて

この初年度に当たる2017年度は、特に、ASEANや中国を中心とした海外での事業拡大と、効率的なオペレーション体制の構築が進展し、順調な業績を収めることができました。

あわせて、東証一部への復帰を果たすとともに、2011年度以来6年ぶりとなる配当を実施することもできました。

「人に寄り添うIoT」「8Kエコシステム」

シャープは、「8KとAIoTで世界を変える」という事業ビジョンのもと、超高精細映像技術「8K」と、AI(人工知能)とIoT(モノのインターネット)を組み合わせた「AIoT」を中心とした事業を展開しています。

8Kを活用し、映像による遠隔医療や遠隔教育を実現すれば、世界の隅々まで高度な医療、質の高い教育を提供することも可能になります。また、農業分野で、8Kを活用した害虫駆除や農作物の生育管理システムを構築すれば、生産性を飛躍的に高めることができ、食糧難に苦しむ国の人々の手助けができるようになります。

一方、AIoTを活用し、スマートホームやスマートシティを実現すれば、人々に、より快適で、より安全な暮らしを提供することができます。また、生産性の大幅向上を実現するスマートオフィスやスマートファクトリーを構築すれば、持続的な経済発展や、人々がより自分らしく暮らせる社

会の実現に寄与することができると思っています。

こうした未来の実現をめざし、今後、シャープは、事業のトランスフォーメーションを加速していきます。

新たな価値の創出

シャープは、創業以来、100年を超える歴史の中で、創業の精神「誠意と創意」、創業者のモノづくりへの想い「他社がまねするような商品をつくれ」に沿って、様々な世界初、日本初のオリジナリティ溢れる商品を創出し、新たな市場の創造、技術の進歩、そして社会の発展に貢献してきました。

こうした「良いモノを創る」ことには、しっかりと取り組んだ上で、今後は、「良いモノ」に加え、サービスやプラットフォーム、さらにはエコシステム全体を通じて、シャープならではの新たな価値、素晴らしい体験をお客様に提供する企業へと変革していきます。

そして、これからも人々の暮らしの向上や、社会の発展に貢献することで、さらなる企業価値の創出にも取り組みます。

株主の皆様をはじめ、全てのステークホルダーのご期待にお応えできるよう、引き続き全身全霊で業務に精進してまいります。今後とも、より一層のご支援のほど、何卒よろしくお願い申し上げます。



代表取締役会長兼社長

戴正吳

2017年12月7日、東京証券取引所での第一部復帰記者会見にて